

平成27年8月6日

## 研修報告書

松戸市議会議員

大塚 健児

研修:出雲シティセールス事業について

主催:出雲市政策企画課 係長 石橋信幸氏

日時:平成27年8月6日(木) 13時半~15時

場所:出雲市議会委員会室

次第:1. 出雲シティセールス事業について

### 【研修報告】

1. 出雲シティセールス事業について

#### 【目的】

出雲大社の「平成の大遷宮」を契機に「出雲」の注目度が高まり、全国から多数の観光客が出雲市を訪れ、大きな経済波及効果があった。

また、高円宮家の典子様と千家國麿様のご結婚により、「出雲」の認知度が更に高まった。

そこで、歴史、文化、自然、産業などあらゆる分野における出雲の魅力と暮らしの情報を、様々な手段・媒体を活用して積極的に発信することにより、「訪ねてみたい」「住んでみたい」「住み続けたい」と一層感じていただけるように取り組む。

#### 【事業】

平成26年度 新事業としてスタート

平成27年度 2年目

- ① 縁結び情報発信 様々な情報誌を使つての情報発信。特に目立ったのが、竹内まりや作詞作曲の「愛しきわが出雲」というCDを販売していること。
- ② 産業情報発信 「出雲縁結び人生ゲーム(仮称)」を計画している
- ③ 広域連携情報発信 映画「たたら侍(仮称)」支援自治体連絡会への負担金
- ④ 観光情報発信 映画「縁(えにし)」製作委員会への支援金
- ⑤ プロスポーツ化支援 地元女子サッカーチームのプロスポーツ化支援
- ⑥ 出雲歴史文化遺産魅力発信 歴史文化基本構想の策定

出雲市人口:174,538人

面積:624.13km<sup>2</sup>

## 【まとめ】

出雲市の人口は松戸市の約1/3です。

その為、明らかにシティセールスの戦略の仕方が違うと感じました。

出雲市は『観光型』。つまり観光地からターゲットを旅行者に絞り、交流人口を成果の指標にしている。

一方、松戸市は『居住型』。つまり住環境からターゲットを地域外住民に絞り、定住人口または移住人口を成果の指標にしている。

上記から、地方でもシティセールスの方法が違うということを目の当たりにしたこと自体、とても勉強になりました。

しかし、冷静に判断して、出雲市の財政力が0.490であることから、『平成の大遷宮』がありながらも、この財政力はいささか寂しいと言わざるを得ません。

事業内容もソフト面が目立つものの、具体的なマーケティング視点とイノベーション研究というハード面が薄かったことが否めません。

松戸市も他市のことは言えませんが、それぞれの都市の強みは何なのかをしっかりと把握した上で、シティセールスのハード面が整わないと、車の両輪のように高回転しないということが勉強になりました。



